

平成28年度第2回 ISO/TC46 本委員会議事録

1. 日時：2016年12月16日(金) 14時～16時
2. 場所：文京シビックセンター 3階 会議室C
(文京区春日1-16-21)

3. 出席者

委員	宮澤彰	国立情報学研究所名許教授(委員長代理)
	水嶋英治	筑波大学教授
	永田治樹	筑波大学名誉教授
	田良島哲	東京国立博物館
	堀 純子	国立国会図書館
	中島康比古	国立公文書館
	樋口清一	日本書籍出版協会
	斉藤隆行	科学技術振興機構
	原田智子	情報科学技術協会(鶴見大学)
	植村八潮	電子出版制作・流通協議会(専修大学)
	中野 茂	大日本印刷
	安形 輝	亜細亜大学
	小出啓介	経済産業省
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

- 資料1 - 1：デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化
- 資料1 - 2：デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子
- 資料2 - 1：平成28年度 ISO/TC46 投票済案件
- 資料2 - 2：平成28年度 ISO/TC46 投票審議案件
- 資料3：平成27年度デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化成果報告書
- 資料4：Draft agenda of the 39th ISO 3166 MA meeting

5. 議題：

1) 前回議事録確認

前回議事録が確認され、以下の点の修正を行い、承認された。

2) 平成28年度計画進捗状況報告

2 - 1) デジタルアーカイブ利活用のための国際標準化

宮澤委員長代理より、資料1 - 1に基づいて前回会議以降の進捗状況が報告された。9月

29日にNP22038投票が始まり、2017年1月29日に投票が終了する予定である。SC9事務局の担当者のミスによりNP投票開始が数日遅れたことも合わせて報告された。SC9事務局の担当者の作業については今後も注視し、必要に応じて誤りの指摘や督促等をかけていく方針が確認された。

2 - 2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

宮澤委員長代理より資料1 - 2 - 1と資料1 - 2 - 2に基づき前回会議以降の進捗状況が報告された。7月16日にCD投票はコメントなし賛成15、コメントつき賛成3、反対1、棄権12で終了した。フィンランドとの協議、SC9/WG13内での検討を行い、12月20日にDIS投票用最終版を送付予定である。

本活動に関して宮澤委員長代理が国立国会図書館のカレントアウェアネスに「CA1872 - 国際図書館資料識別子 (ILII)」という記事を掲載したことが報告された。

2 - 3) デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備

欠席の保坂委員がリーダーであるSC11を除く、各SCでのデジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備についての進捗状況について各SCのリーダーよりについて報告された。SC10及びSC11については宮澤委員長代理より報告された。

3) ISO/TC46/SC9 国内審議

3 - 1) 投票済案件

宮澤委員長代理より資料2 - 1に基づきISO/TC46投票済み案件について報告された。最初の3件がTC46に直接する投票である。4件目以降は宮澤委員長代理がMAになっている国名コード関係の投票であり、番号が付与されていないものは日本が0メンバーであるISO/TC46/SC10関係の投票であり、参考資料として紹介された。

3 - 2) 投票審議案件

宮澤委員長代理より資料2 - 2に基づき翻字関係のSR投票7件について、現在は使われていないが日本が積極的に廃止に動くものでもない、という説明がされた。すべて棄権するという提案がなされ、承認された。

4) 平成28年度成果報告書について (資料3)

事務局より2017年2月20日には今年度の成果報告書を完成させる予定であることが紹介された。成果報告書のための会合を年内に委員長、各SCリーダー、事務局で開催し、1月半ばの第1次案を目処に具体的なスケジュールや進め方について検討することとなった。

5) その他

宮澤委員長代理より資料4に基づき ISO 3166 国名コードのメンテナンスエージェンシーのメンバーとして次年度2月に開催される会合に出席する予定であることが報告された。